

「オーストラリア・メルボルン国際大会」参加希望者の Q&A

Q1: 海外に行くのは初めてで不安です。英語が苦手で、言葉が通じるかどうか心配です。

A1: ほとんどの人が行く前は不安を感じていますが、行ってみるとほとんど不安が解消します。まず、

- ① オーストラリアの人たちは親日家が多く、特に少年・少女野球でホームステイを受けてくれる家庭は日本の選手が来るのを心待ちにしており大歓迎してくれます。
- ② 英語が苦手でも、ほとんどのケースが片言の英語とジェスチャーで意思は通じます。ホームステイ家族もパソコンやスマホの翻訳機能を使ったりしてコミュニケーションに努めてくれますので、不安はすぐに楽しみに変わります。
- ③ 今年のメルボルン遠征に参加した選手の感想文からの抜粋を下記に記載します。

Aさん:「最初は英語がしゃべれるかどうか心配でした。しかし、ホームステイの人がとても優しくしてくれて、英語なんかできなくてもやっていけることが分かりました」

Bさん:「初めてのホームステイ。どんな人かなとドキドキしました。ホストファミリーの人はとても優しくかったです。5人家族で、行った日にプールに入りました。。。。。。その日の夜はバーベキューでお肉をたくさん食べました。」

Cさん:「最後の日空港についてから、ホストファミリーの人に、この10日間のアルバムをもらいました。毎日写真を撮ってくれていて、すごく多くの写真とメッセージが書かれています。とても嬉しかったです。」

Dさん:「休みの日には、ホストファミリーが動物園に連れて行ってくれました。特に珍しかったのは、コアラとカンガルーです。すぐ近くにカンガルーがいて驚きました。」

Dさん:「僕はオーストラリアで様々な体験をすることができました。最初は、オーストラリアの方々の優しさに触れたホームステイです。家族の方とは初めて会うのに、僕たちに優しくしていただき、不自由のない生活をさせていただきました。僕たちの泊まったホームステイ家族は6人でお父さん、お母さん、お姉さん、お兄さん、ウィリアム（カンガルーチーム選手）と、妹の家族構成でした。最初は僕たちも相手側も少し緊張してたけど、ホームステイ家族の方から優しくしていただき、僕たちも皆に馴染み打ち解けられました。。。。。。。。 イースター際で休みの時は、日本でいうROUND1 みたいなところに先ず連れてってもらいました。レーザーガンゲーム、ボーリングなど、どれも楽しかったです。次にカンガルーがいる牧場みたいなところに連れてってもらいました。確か15匹ぐらい見たと思います。ホームステイ楽しかったです。。。」

Eさん:「僕はオーストラリアの遠征で色々な体験をし、オーストラリアの人たちとも交流を深めることができました。このようなことが出来たのは、家族の色々な協力があったからです。そしてオーストラリアにいた10日間は、ホストファミリーがお世話をしてくれたので、思い出に残るオーストラリア遠征になったのだと思います。ホストファミリーに本当に感謝しています。この体験は一生の思い出です。この体験で、色々なことを学んだので、将来に活かしていきたいです。楽しい10日巻でした。」